

No. 339  
1999年  
10月

# OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階  
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

## ● 日本 OR 学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成12年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

1. 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
2. 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(11年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。
3. 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕 ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(財)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT 研究開発本部、秩父小野田(株)、富士通(株)ソフトウェア事業本部ミドルウェア事業部、(株)ゼクセル技術本部等、企業が主な受賞者でした。

〔普及賞〕 ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、齋藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田

浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部 眞、本告光男、渡辺 浩、伊理正夫、高橋磐郎、権藤 元、牧野都治の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

〔事例研究奨励賞〕 すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限ります。なお、ソフトウェア部門は11月30日締切です。

〔学生論文賞〕 学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成12年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

## ● 日本オペレーションズ・リサーチ学会 事例研究奨励賞(ソフトウェア部門) 第15回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられております。

学会ではこのような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行なった実績も参考として決定したものであります。

〔募集要領〕

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会  
事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)

2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。

(1)教育用ソフトウェア（大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア）

(2)OR技術の先端的ソフトウェア

3. 応募資格：本学会の会員（個人に限らずグループや企業も対象となります）

4. 応募手続：(1)提出書類

①正会員による推薦状1部

推薦状は学会所定の用紙とします。

②ソフトウェア機能説明書（A4判3枚以内）5部  
機能説明書は学会所定の用紙とします。

③その他参考資料

Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。

(2)提出先：日本OR学会表彰委員会

(3)応募締切：平成11年11月30日(火) 必着

5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰する。

6. その他：(1)応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請を受けたときは、その便に応じることとしてください。ただし、学会は、利用について仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。

(2)受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行なうこととします。

(3)応募者は、今年の春季研究発表会で発表済み、または、秋季研究発表会のソフトウェアショウにおいて発表済みと条件とします。

## ●第43回シンポジウム

日時：平成12年3月26日(日) 12:30~18:00

場所：愛知大学 車道校舎（名古屋市東区筒井二丁目10-31）

テーマ：「ゲームの理論とオペレーションズリサーチ」

実行委員長：玉置光司（愛知大学）

プログラム概要：

1. 「競売と競争入札のゲーム理論」

渡辺 隆裕（岩手県立大学）

2. 「探索ゲームとその周辺」

菊田 健作（神戸商科大学）

3. 「投票による決定と投票者のパワー（協力ゲームによる分析）」

武藤 滋夫（東京工業大学）

4. 「ゲームにおける決定不能性とランダムネス」

中山 幹夫（慶應義塾大学）

5. 「無限ゲームについて」

寺岡 義伸（大阪府立大学）

## ●平成12年度春季研究発表会

日程：平成12年3月27日(月)~28日(火)研究発表会  
3月29日(水)見学会

会場：名古屋工業大学（名古屋市昭和区御器所町）

特別テーマ：ORと環境

1996年9月にISO14000が正式に制定されて以来、我が国の認証件数も本年5月末で2248事業所に達している。環境問題は来るべき新しい世紀において解決を迫られている最重要テーマの一つであり、幅広い現実問題への科学的手法を開発・発展させてきたORの挑戦課題である。

実行委員長：大野 勝久（名古屋工業大学）

特別講演：一般公開（入場無料）

3月27日(月) 1:30~2:30

内山田竹志（トヨタ自動車(株)取締役）

「トヨタにおける環境問題への取り組み」

3月28日(火) 1:30~2:30

浜田 宏（デルコンピュータ(株)法人営業本部 本部長）

「21世紀のビジネスモデル：デル・ダイレクト・モデル、そしてインターネットビジネスに関する考察」

見学会：3月29日(水)

見学先：日本ガイシ小牧工場、他1社の予定

発表申込締切：平成11年12月10日(金) 消印有効

・研究発表は、申込書及び、アブストラクトの提出をもって申し込み受付とします。

申込書請求先：日本オペレーションズ・リサーチ学会 事務局

Tel.03(3815)3351 E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

申込書およびアブストラクト送付先：

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生産システム工学科

安達 公一

問合せ先：〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生産システム工学専攻  
大鑄 史男  
Tel.052(735)5393 Fax.052(735)5401  
E-mail: ohi@system.nitech.ac.jp

● 国際会議案内

・ International Conference on Applied Stochastic System Modeling (ASMM'2000)

日 程：平成 12 年 3 月 29～30 日

場 所：京都ガーデンパレス（京都府）

アブストラクト送付先および連絡先：

〒 739-8527 東広島市鏡山 1-4-1

広島大学工学部第二類(電気系) ASMM'2000 事務局

Tel.0824(24)7698 Fax.0824(22)7025

E-mail: osaki@gal.sys.hiroshima-u.ac.jp

E-mail: satow@gal.sys.hiroshima-u.ac.jp

アブストラクト提出期限：平成 11 年 11 月 15 日（英文 200 字以内，キーワード 5 つ，著者連絡先を含むこと）

写真製版論文提出期限：平成 11 年 12 月 31 日

・ 2000 日米フレキシブル・オートメーション・シンポジウム—21 世紀に向けて新技術革新についての国際会議—

日 程：平成 12 年 7 月 23～26 日

場 所：ミシガン大学（米国）

アブストラクト送付先：

〒 560-8531 豊中市待兼山町 1-3

大阪大学大学院基礎工学研究科システム人間系

新井 健生 Fax.06(6850)6341

E-mail: jusfas\_pc@arai-lab.sys.es.osaka-u.ac.jp

連絡先：（日本側事務局）

〒 525-8577 草津市 立命館大学ロボティクス学科

渡部 透 Fax.077(561)2655

E-mail: watanabe@se.ritsumeit.ac.jp

アブストラクト提出期限：平成 11 年 11 月 30 日（長論文と短論文があります。）詳しくは，<http://www.engin.umich.edu/prog/pim/2000JUSFA.html> をご覧下さい。

● (社)日本工学会 第 9 回 科学技術振興・推進に関するシンポジウム—科学技術と社会—

日 時：12 月 17 日(金) 13:20～17:20

場 所：鹿島 KI ビル地下大会議室

東京都港区赤坂 6-5-30 Tel.03(5561)2111

プログラム：

13:30～14:10 基調講演 「何故“科学・技術と社会”なのか」 村上陽一郎（国際基督教大学教授）

14:10～14:50 基調講演 「メタテクニカ」

中島 尚正（東京大学工学部長）ほか

参加費：3,000 円（含資料代）

参加申込：往復ハガキに，氏名・勤務先・同住所・同電話番号・所属学協会名を明記し，返信ハガキ表に通信先住所・氏名をご記入の上，下記に申し込んでください。

〒 107-0052 港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 日本工学会

Tel.03(3475)4621 Fax.03(3403)1738

● 第 11 回 RAMP シンポジウム

主 催：数理計画研究部会（RAMP）

日 程：10 月 18 日(月)，19 日(火)

場 所：九州大学国際ホール（箱崎キャンパス）

〒 812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10-1

地下鉄「箱崎九大前」駅から徒歩 8 分，「貝塚」駅から徒歩 10 分。

Tel.092(642)4239（国際ホール準備室）

Tel.092(642)2142（留学生センター事務）

参加費：一般 5,000 円，学生 2,000 円（当日，会場受付にて参加費を添えてお申し込み下さい。）

懇親会費（18 日夜）：一般 5,000 円，学生 2,000 円

問合せ先：第 11 回 RAMP シンポジウム実行委員会

〒 812-8581 九州大学経済学部経済工学科

岩本誠一

Tel.Fax.092(642)2488

大学院数理学研究科 川崎英文

Tel.Fax.092(642)2767

\* 会場地図，交通，ホテル等の情報は，ホームページ <http://www.me.titech.ac.jp/~uno> をご覧ください。

プログラム：

10 月 18 日(月)

9:30～9:40 開会の挨拶

9:40～10:10

セッション 1 「組合せ理論とアルゴリズム」

オーガナイザー：松井知己（東京大学）

1-1 「列挙アルゴリズムの高速化とその周辺」

宇野毅明（東京工業大学）

1-2 「限定合理性とマシンプレイヤー」

中山幹夫（慶応義塾大学）

10:10~10:25 休憩 (15分)

10:25~12:55

1-3 「単調 DNF の双対性判定問題」

玉木久夫 (明治大学)

1-4 「線形化と LP 緩和/SDP 緩和」

藤江哲也 (神戸商科大学)

12:55~14:10 昼休み

14:10~15:25

セッション 2 「生物の適応戦略」

オーガナイザー: 巖佐 庸 (九州大学)

2-1 「生物の適応戦略と最適化・ゲームモデル」

巖佐 庸 (九州大学)

2-2 「植物の適応戦略」 酒井 聡樹 (東北大学)

15:25~15:45 休憩 (20分)

15:45~17:15

2-3 「動物行動の最適理論に関するモデリングの側面」

瀬野裕美 (奈良女子大学)

2-4 「病原体の適応と進化: ホストとのゲーム」

佐々木顕 (九州大学)

18:00~20:00 懇親会

10月19日(火)

9:30~11:00

セッション 3 「非線形計画法とその周辺」

オーガナイザー: 川崎英文 (九州大学)

3-1 「極値問題の大域的性質: 共役点」

川崎英文 (九州大学)

3-2 「非線形計画問題の感度分析とノンスムース・アナリシス」

白石俊輔 (富山大学)

11:00~11:15 休憩 (15分)

11:15~12:00

3-3 「半無限計画とその周辺」

伊藤 聡 (統計数理研究所)

12:00~13:15 昼休み

13:15~16:35

セッション 4 「数理計画の応用」

オーガナイザー: 中山弘隆 (甲南大学)

4-1 「多目的計画法による放射線外照射治療計画」

藤井 進, 熊本悦子 (神戸大学)

4-2 「対話型多目的計画法を利用した渇水時意思決定」

加藤博光 (㈱日立製作所システム開発研究所)

14:45~15:05 休憩 (20分)

15:05~16:35

4-3 「タイヤ設計への最適化技術の応用」

阿部明彦 (㈱ブリヂストンタイヤ研究部)

4-4 「レンズ設計分野における最適化技術の応用事例」

松居 寛 (キャノン㈱創造環境推進センター)

16:35 閉会の挨拶

## ● 研究部会・グループ開催案内

〔OR/MS とシステム・マネジメント〕

・10月度

日 時: 10月2日(土) 13:30~16:30

場 所: 電気通信大学 P棟 4F 418 会議室

〒182-8585 東京都調布市調布が丘 1-5-1

(京王線調布駅北口より徒歩7分)

テーマ: 「SCM への挑戦—米国企業のグローバル戦略の視点から」

講 師: 星野 裕 (㈱社会工学研究所 理事一元サン  
マイクロシステムズ社 SCM 担当ディレクタ)

問合せ先: 住田 友文 (電気通信大学)

E-mail: sumida@is.uec.ac.jp

Tel.0424(43)5665 Fax.0424(89)1630

林田 収二 (古河電気工業)

E-mail: hayasida@ho.furukawa.co.jp

Tel.03(3286)3341 Fax.03(3286)3667

〔評価の OR〕

・第18回

日 時: 10月16日(土) 13:30~16:00

場 所: 成蹊大学資料館 (吉祥寺駅下車, バス成蹊学園前下車, 正門を入れて守衛所の右脇, 吉祥寺駅より徒歩20分) 2階大会議室

テーマと講師:

(1)「DEA を用いての不良債権処理を加味した銀行の費用効率性の計測」

高橋 智彦 (日本生命及び筑波大学大学院)

(2)「AHP を援用したコーポレート・ブランドの評価枠組みに関する研究」

住田 友文, 荒木 一宏 (電気通信大学大学院)

問合せ先: 日本大学生産工学部数理工学科

篠原 正明

Tel.047(474)2672 Fax.047(474)2669

E-mail: m7sinoha@ccu.cit.nihon-u.ac.jp

〔地域産業戦略〕

・第4回

日 時: 10月19日(火) 17:00~18:30

場 所: 北海道大学工学部情報工学科会議室 M 153

室  
 テーマ：未定  
 講師：なし  
 問合せ先：北海道大学大学院工学研究科システム情報  
 工学専攻複雑系工学講座調和系工学分野  
 山本 雅人  
 Tel.011(706)6497  
 E-mail: masahito@complex.eng.hokudai.ac.jp

[システム最適化の理論と応用]

・第4回  
 日時：10月23日(土) 14:00~17:00  
 場所：九州大学経済学部2階会議室  
 テーマと講師：  
 (1)「遺伝的プログラミングによるカオス力学系の推定  
 とその応用」 池田 欽一 (九州大学経済学部)  
 (2)「中小企業における情報化の現状と課題」  
 橋本 俊行 (近畿大学九州短期大学)

問合せ先：九州大学経済学部 時永 祥三  
 Tel.092(642)2466  
 E-mail: tokinaga@en.kyushu-u.ac.jp

[待ち行列]

・第145回  
 日時：10月23日(土)14:00~16:30  
 場所：東京工業大学本館1-94号室  
 テーマと講師：  
 (1)「多数回最適停止問題の解法の考察」  
 穴太克則 (南山大学経営学部)  
 (2)「A Direct Approach to Exceptional Service  
 Models」  
 見学宏修・宮沢政清 (東京理科大学理工学部)

問合せ先：筑波大学大学院経営システム科学  
 牧本 直樹  
 Tel.03(3942)6874  
 E-mail: makimoto@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp

[COM・SCM・スケジューリング]

・第16回  
 日時：10月7日(木) 18:00~20:00  
 場所：青山学院大学 青山キャンパス総研ビル  
 テーマ：「売上増大と在庫削減を動機づけるスループ  
 ット会計」  
 講師：菅本 栄造 (専修大学商学部)  
 ・第17回  
 日時：11月12日(金) 14:00~18:00  
 場所：青山学院大学 青山キャンパス総研ビル

テーマ：「ラグランジュ緩和法とスケジューリング」  
 開催 100 回記念特別研究会 (チュートリアル講演と  
 座談会)

問合せ先：東洋大学経営学部 今泉 淳  
 Tel.048(468)6691 (FAX 兼用)  
 E-mail: jun@prod.mng.toyo.ac.jp

[グローバル政策]

・第7回  
 日時：11月20日(土) 14:00~17:00  
 場所：三菱総合研究所4階CR-4会議室  
 (東京都千代田区大手町2-3-6)

テーマ：「意志決定支援システム」  
 講師：市川雅也 (三菱重工)  
 懇親会：研究会に引き続き実施、会費2,000円程度  
 問合せ先：防衛庁 齋藤 司郎  
 Tel.03(3408)5211 内線2395  
 Fax.03(3470)0780  
 E-mail: j5saito@jsc.go.jp

### ● 会合案内

[第192回新宿OR研究会]  
 日時：10月19日(火) 12:00~13:30  
 場所：東天紅会議室 (新宿センタービル53F)  
 テーマ：「企業のリスクマネージメントの動向」  
 講師：中嶋 秀嗣氏 (安田リスクエンジニアリング  
 ㈱)

参加費：3,000円  
 問合せ先：日本OR学会事務局

[第193回新宿OR研究会]  
 日時：11月16日(火) 12:00~13:30  
 場所：東天紅会議室 (新宿センタービル53F)  
 テーマ：「最近のISO活動について」  
 講師：青木 朗氏 (国際標準化機構-ISO-副会長・  
 日本規格協会参与)

参加費：3,000円  
 問合せ先：日本OR学会事務局

[第71回丸の内OR研究会]  
 日時：10月13日(水) 18:30~20:30  
 場所：トーマツ・コンサルティング㈱  
 (港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル)  
 \*今期、場所が変更になりましたのでご注意願います。  
 テーマ：「ANXを始めとする企業/業界次世代IPネ  
 ットワークの動向」  
 講師：紫合 治氏 (NECインターネット技術研究